

ドッグセラピーについて

1 事業の概要

ワンヘルスの取組の一つとして、障がい児施設等へセラピー犬を派遣し、障がいのある方の身体的、精神的健康の増進を図るモデル事業を実施（R4～R6）

2 取組内容

○ 児童発達支援センターへの派遣

【対象】 発達障がい児（3歳～5歳）

【内容】 セラピー犬との触れ合い、キャッチボール、フープジャンプ等

【効果】

- ・ 普段は対象への興味を持ちにくい児童も、セラピー犬が来ると強い関心や共感を示し、表情や行動（満面の笑顔、自発的に触りに行く）から大きな効果を確認
- ・ 実施後も、児童が自分の経験を他の児童や家族に伝えるなど、自発的・積極的な行動が見られた。



○ その他にも特別支援学校などに派遣して、効果的なセラピー手法の検討や障がい児に対する効果検証を実施

3 取組結果（まとめ）

ドッグセラピーの取組内容や効果を多くの方に知っていただくとともに、導入を考えている方が円滑に実施することができるよう、事例や手順、配慮事項などを取りまとめたガイドブックを作成

項目	主な内容
(1) ワンヘルスとアニマルセラピー	ワンヘルスや福岡モデルのドッグセラピーの概要
(2) ドッグセラピー プログラムのデザイン	プログラム構築のポイント
(3) ドッグセラピーと安全性	犬とふれあうためのポイント、プログラム紹介、アレルギーへの対応
(4) 施設訪問モデル	児童発達支援センターでの実践報告
(5) 特別支援学校・訪問モデル	特別支援学校での実践報告
(6) 野外モデル	野外での実践報告
(7) ドッグセラピーと多様な人々の関わり	専門家からのメッセージ



（参考：福岡県ホームページ）

・ ドッグセラピー導入のためのガイドブック

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/dog-therapy.html>

（連絡先） 福祉労働部 障がい福祉課社会参加係
担当：原田（TEL：092-643-3264）

